

Think Globally! Challenge for your Career!

外国留学中間レポート



2024 SPRING 発行



留学中のみんなから、中間レポートが届きました!



外国留学中間レポート 2024 SPRING

目次

イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校（アメリカ）	2
経営学部 経営学科 3年	2
ビクトリア大学（カナダ）	3
文学部 英米文学科 3年	3
ビクトリア大学（カナダ）	4
文学部 英米文学科 3年	4
ビクトリア大学（カナダ）	5
マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 4年	5
カールトン大学（カナダ）	6
文学部 社会学科 3年	6
カールトン大学（カナダ）	7
経済学部 経済学科 4年	7
厦門大学（中国）	8
経営学部 経営学科 3年	8

イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校（アメリカ）

経営学部 経営学科 3年

【交換留学】留学期間：2023年8月～2024年5月

私はアメリカのイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校に交換留学生として1年間の留学をしました。今回の留学では、そばにいてくれる友人の大切さを再認識し、チャレンジし続ける精神力を身につけることができました。

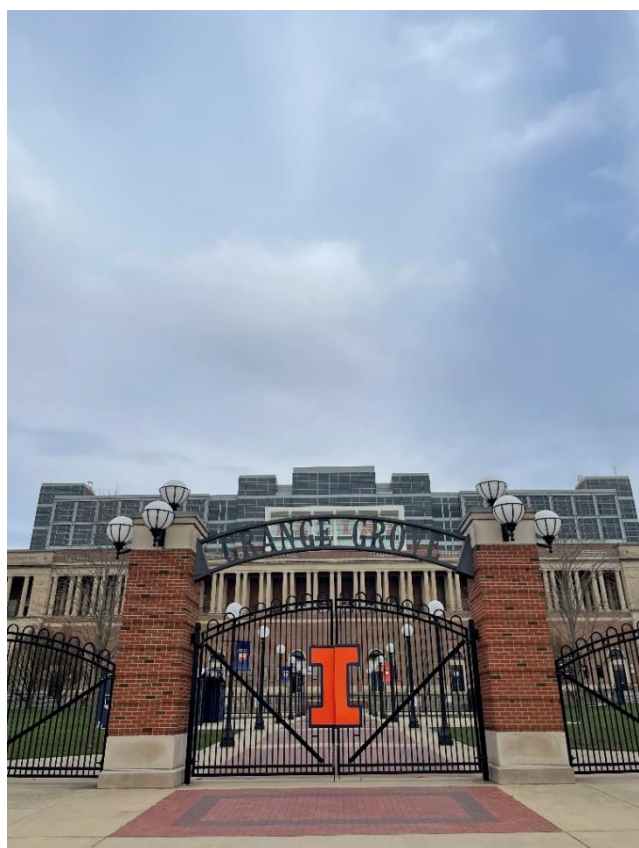
友人の大切さや、交流を広げることの大切さに気づくことができたのは渡米から間もない頃でした。渡米直後は不安と期待が入り混じり圧倒されてしまうこともありました。半年ほど経つとイリノイでの生活を十分に満喫できるようになりましたが、初めは苦勞の連続でした。しかし、せっかく日本からはるばるアメリカにやってきたのだからと、まず楽しみながら努力をしました。楽しむための手助けをしてくれたのは現地の友達でした。お互いに全く違ったバックグラウンドがありながらイリノイ大学で出会った友達と話す時間はとても楽しく唯一無二の時間でした。ともに時間を過ごす中で、これまでの私の日本での生活と友人のバックグラウンドを



照らし合わせてみると、新しい発見があったりして自身の知見を広げる楽しさを得ました。私の留学生生活を充実させてくれた友達にはいまでも感謝しています。

次にチャレンジ精神です。留学中に直面した課題は私の未熟さが故に、必ずしも自分の能力や経験の範囲内で解決できる課題ばかりではありませんでした。特に勉強面では苦勞することが多く、毎日の課題に押しつぶされそうになる

こともありました。それでもチャレンジし続けることを忘れずに、手の届かないところにも手を伸ばし続けることで、できることを増やしていくことの連続でした。一例をあげると、授業内容について教授に質問に行くことさえ、留学当初は心の準備と質問の用意が必要でした。私は優秀でなかったのだからわからないところもたくさんあり、数多の質問回数を経てスムーズに教授に質問できるようになりました。このように今までできなかったことや、ぎこちなかったことができるようになることで、新たに次のチャレンジに手を伸ばしていけるようになり、達成感と自身の成長を感じることができました。



留学によって、私はどんな困難な状況にあっても味方となってくれる友との繋がりと、できないことにもまずは飛び込んでチャレンジする力の重要性を理解することができました。最後になりますがアメリカでの交換留学というまたとないチャンスをくださった甲南大学と国際交流センターの皆様に心より感謝申し上げます。

ビクトリア大学 (カナダ)

文学部 英米文学科 3年

【交換留学】留学期間：2023年8月～2024年4月

留学の初めから一貫して変わらなかった考えは、“自分から行動する事の大切さ”です。待っていて誰かから来てくれるなんてことは、すごく運が良い限り無いし、もし自分がよりたくさんの経験をしたいと思うなら自分から行動し、たくさんの人に話しかけ、やりたい事は自分ですべきだと思います。勇気がいる事だけど、誘ってみてもしその人が乗り気でなかったり、友達になりたい雰囲気が無かったりしたら次の人に話しかければ良いし、周りに目を向けるとみんな違う人間で好みも興味も違い、世間話だけでも自分の思っている以上の事を学べることもあります。恐れずに何でも挑戦すると、必ず良い方向に行くと感じることが出来ました。

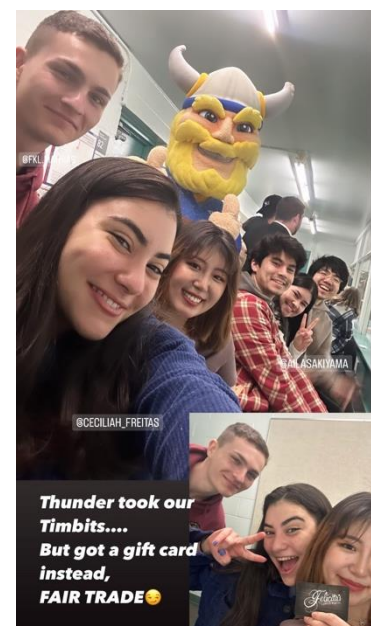


留学前半（秋学期）の reading break では Hawaii に行き、甲南で出会った留学生の友達と過ごしました。自分のホームタウンでない場所に行くのは勇気がいりましたが、既にいる友達に会いに行ったので心の持ちようが全く違いました。

カナダは国土が広いので、同じ国でも少し違う地域に行けば全然違う景色を見ることが出来ます。winter break は Banff に行き、沢山の雪と綺麗な景色を楽しみました。全て自分で計画しなければならなかったのが旅行に慣れていない私にとっては少し大変な経験でしたが、行ってよかったなと思います。

留学後半（春学期）は自分の興味のある授業をとることが出来、毎日予習復習に忙しかったです。assignment も test ももちろん全て英語でヨーロッパの歴史では昔の文章を読んでそれぞれのことについて話し合う授業だったので reading にとっても時間を取られ苦労しました。春学期の reading break にはアメリカの LA と Vegas に5日程旅行に行き、カナダとはまた全く違う雰囲気を体験し新しい世界を見ることが出来ました。

私は授業だけでなく他の事にも時間を使って様々な経験をしたかったので、ボランティアやイベントにたくさん参加しました。1度コミュニティに入るとその後色々なイベントやボランティアに誘って貰えるので、毎日何かしら予定がある生活で精神的にも肉体的にもすごく疲れる生活でしたが、それ以上に充実していてとても幸せだったなと思います。



ビクトリア大学（カナダ）

文学部 英米文学科 3年

【交換留学】留学期間：2023年8月～2024年4月

カナダに到着してから、8ヶ月が経ちました。到着した日のことは、昨日のように思い出すことができます。カナダでの生活を振り返ってみると、これまで体験・経験した多くの出来事が頭に浮かびます。一つ一つの経験が、現在の私を形成しています。ビクトリア大学での学習生活は毎日充実していました。授業はとても興味深く、私の勉強意欲を向上させてくれました。また、一つの分野だけを勉強するのではなく、様々な分野の勉強に挑戦したことは、新たな自分を発見する機会となりました。多様な人と関わることで、人が何に興味を持っているのかを知ることができました。

最初の秋学期は何もかもが新しく、時には圧倒されることもありましたが、毎日楽しむことを忘れませんでした。この学期に受講した授業の全てにおいて、単位を取得することができたので、次の学期の勉強への自信につながりました。秋学期が終わった後、私の夢の一つであったクリスマスは自国以外で過ごすことが叶いました。カナダのクリスマスは、日本のクリスマスよりも大きく祝われます。カナダのクリスマスを祝うことができ、これ以上に幸せなことはありませんでした。また、初めて海外で新しい年を祝うこともできました。そして春学期になり、授業のスタイルにも慣れたので、毎日の課題をこなすことも楽しいです。また、勉強だけでなく、ホストファミリーや友達と過ごす時間も全力で楽しんでいます。留学期間の日数が少なくなってきましたが、残された日々を最大限に活用したいと思います。後悔だけはしたくないので、やりたいことは全て、留学が終了する前には実現させたいと思います。留学生活がより一層素晴らしいものになるように、全ての瞬間を楽しみたいです！



ビクトリア大学（カナダ）

マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 4年

【交換留学】留学期間：2023年8月～2024年4月

前回の中間報告書を書いたのは10月でした。そのとき書いた中間報告書を読み返してみると、カルチャーショックやホームシック、授業についていくのが大変など様々な問題を抱えていた自分がいました。しかし現在の私に関しては、授業についていくのはまだまだ大変なところはたくさんあるものの、カルチャーショックやホームシックなどを感じることは全くなく、カナダの良い部分もあまり良くない部分も含めて自分に合わせる事ができており、毎日の生活に違和感なく、とても楽しく毎日を過ごせています。

私は9月からテニス部に入部しました。4月までしか在籍できないにもかかわらず、チームメイトは私をとて歓迎し、受け入れてくれました。大学までテニスが続けていてとてもよかったなと改めて留学中に感じる事ができました。2月中旬にはバンクーバーまでテニス部全員で遠征をし、バンクーバーにある大学と試合をしました。結果的に試合には負けてしまいましたが、それ以上に得られたものがありました。それは、チームとしての団結力と友情です。

これまではあまり話すことがなかったチームメイトとも、とても仲良くなりました。テニスをする以外にも、キャプテンの家に仲間と泊まり、ご飯を食べたり、ゲームをしたり、試合後にはパブに行ってお酒を飲みながらゲームをするなど、とても良い経験を積んでいけています。テニス部のみんなには感謝してもしきれません。週末にはみんなでアメフトをテレビで観戦したり、ご飯を食べに行ったりするので、今は週末がとても楽しみで、平日に勉強を頑張ることができています。このようにカナダの文化にも徐々に慣れ、とても楽しい毎日を過ごすことができています。

しかし私にとっては違和感が一つだけあります。それは食事面や体調面についてです。私はキッチンのない寮に住んでおり、食事は毎回食堂で自分の好きなものを食べています。しかし、日本では毎食とていいほど白米を食べ

ていたのが、急にパンやパスタなど小麦中心の食事に变化したため、体調面に不安を感じました。栄養を偏りなく食べることがとても難しいので、フルーツや野菜を積極的に食べ、健康的な食事をするように心がけています。留

学も残り2か月を切っており、テニス部やほかの友達とのお別れを想像するととても悲しいですが、帰国の際に悔いのないよう終盤のビクトリアでの生活を過ごしていきたいと思



カールトン大学 (カナダ)

文学部 社会学科 3年

【交換留学】留学期間：2023年9月～2024年4月

留学期間も残すところ1か月半となりました。本当に時間が経つのが早かったと感じています。こちらに来た当初は授業や生活に慣れず、かなり大変な思いもしましたが、今では生活においては不自由なく過ごしています。こちらでたくさんの方と交流ができて、来月日本に帰ることを考えると寂しい気持ちになります。最近では、日本語の授業のボランティアをしていて、指導するのにとてもやりがいを感じています。私が担当しているのは中級クラスですが、英語での指導が必要なので英語力の向上にも繋がっています。

生活面では、ルームメイトへ香水がきついことを伝えるのに苦労しました。日本だと遠回しな表現をしたり、窓を開けたりすると察してくれる人が多いと思いますが、こちらでは直接はっきり言わないとわかってくれないので、しっかりその旨を伝えたときは成長したと思いましたし、お互い気持ちよく過ごすためにも良い判断だったと思っています。今でも関係は良好です。

学習面では、授業前にしなければいけない reading と、毎回出される複雑で大量の課題をこなすことで1日が終わります。幸い私が取っているクラスは中間・期末考査がないのですが、その代わりに課題の内容重視で評価されるので、日々プレッシャーを感じています。毎日このように過ごしているとストレスがたまるので、週末は友達と出かけたりしてリフレッシュしています。

最近あった1週間の休みや冬休みには、様々な都市や国に1人旅し、どこにでも気軽に出かけられるようになりました。残りの約1か月半、勉学にも励みつつ現地でできた友達と有意義な時間を過ごしたいと思います。



カールトン大学 (カナダ)

経済学部 経済学科 4年

【交換留学】留学期間：2023年9月～2024年4月



留学開始から半年ほどが経過しました。今年は暖冬だったせいか、想像していたほど厳しい冬ではなかったです。今年は初めて最低気温が-20℃を下回らなかったそうです。基本的にはずっと氷点下で雪とともにある生活だったので神戸とは違い、とても新鮮でした。オタワ名物のリドー運河も今年はスケートが出来るほど凍り、とても美しい冬となっていました。

授業では、秋学期・冬学期ともに英語と経済を履修しています。英語の授業は、バックグラウンドが全く違う学生たちで助け合いながら、楽しく取り組んでいます。授業では毎回課題がありますが、そこまで大量ではないので丁寧に取り組むことが出来ています。経済の授業は、試験が大きなウェイトを占める形式になっ

ているので、中間・期末の試験前はとても忙しくなりました。日本語なら、理解でき説明もできる問題であっても、専門用語が英語になっているというだけで、全く別物に感じました。記述式の問題が多く出たので、それに向けての対策はとても大変でした。

授業外では、バレーボールをすることが楽しみの一つになっています。僕は中高でバレーボールをしていたこともあり、体を動かすことがとても好きです。キャンパス内にはジムやスポーツ施設があり、毎週バレーボールをすることが出来ます（ほかのスポーツも）。体を動かすことでリフレッシュできるうえに、同じ趣味を持った人が集まるので仲良くなるのもとても簡単で、充実した時間を過ごせます。寮での生活は、ルームメイトに対しての不満等もなく、とても快適に生活することが出来ています。

オタワは神戸ほど都会でなく、観光地等も多くあるわけではないです。それでも、必要なものはコンパクトに集まり、優しい人々・美しい自然・季節ごとのイベントがあり、非常に住みやすい都市です。また、トロント、モントリオールといった大都市にも近く、週末には気軽に小旅行に出かけることもできるなど、経験を積むのにも勉強するのもどちらにも良いという素晴らしい都市です。

こちらでの生活も残り2か月を切りました、勉強面でも生活面でも留学生活を締めにかかる時期です。見慣れてきた野生のリスも、プラスチック袋入りの牛乳も直に見られなくなると思うと寂しいですが、残された時間を無駄にしないようアクティブに過ごしていきます。



厦門大学（中国）

経営学部 経営学科 3年

【交換留学】留学期間：2024年2月～2025年1月

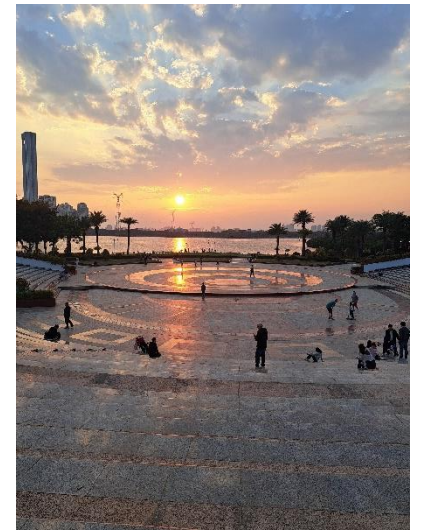


今まで経験したことない新鮮で刺激的な日々を過ごしています。毎日を有意義に過ごすために楽しんでます。積極的に何事にも挑戦することは、私を人として大きく成長させてくれます。

私が留学を開始したのは2月下旬でした。初めての1人での留学、そのうえ、1年という長い期間の生活のため、不安と期待それぞれを抱いていました。厦門空港に到着するまでの間、隣の席になった中国から観光に来られていた家族のお母様と拙い中国語と英語で少し会話をしました。その際に優しく接していただいたおかげ

で、少しリラックスすることができました。その後、なんとか大学内に入り、寮のゲートに到着しましたが、警備員の方の中国語の話す速さについて行くことができなかったため、困っていました。その時、偶然通りがかったイタリアからの留学生に英語で助けてもらって、なんとか入寮の手続きや携帯のSIMカードの購入等を行うことができました。中国では、SIMカードはもちろん、VPNが日本のSNSの利用には必須なので、無事に利用できるようになったことで何よりも安心することができました。

2月28日に春学期の始業式があり、授業が始まりました。最初の学期が始まり、1ヶ月半程が過ぎました。必修科目と選択科目があるため、自分のレベルに合わせた選択科目を受けることができます。来週から中間試験が始まるため、図書館の自習スペースなどを利用し、準備を進めています。大学内に、体育館やバスケットコートなどがあるため、放課後は友人とバスケットボールやバレー、バドミントンをして交流しています。みんなで助け合いながら学び、生活をする環境をととても楽しく感じています。土曜日、日曜日は授業がないため、鼓浪嶼（ころうしょ）と呼ばれる観光地に行くなど、様々な場所に行くようにしています。厦門は年間を通して、暖かく穏やかな気候のため、とても過ごしやすいです。昼間と夜間の寒暖差を少し感じる程度です。日本人は同じ学部の中



に5人で、このタイミングで来た留学生は私のみでした。普段の生活では、中国語もそうですが、ほとんど英語で会話をしています。そのため、私の当初の計画通り、中国語と英語の両方を向上させることのできる素晴らしい環境です。食事に関しては、物価が特に安いので、とてもありがたいです。味付けに関しては、濃すぎるもの、辛いものや油が多く感じるものがありますが、自身で選択することが出来ます。また、授業で日記の課題があるため、日本語の日記とは別に中国語でも日記を書いています。私の中国での留学をより充実したものにするために、様々な場所を訪れ、留学生だけでなく、在学生に対しても話しかけ、交流を深める努力をします。そして、せっかく頂いたこの貴重な機会を無駄にしないようにしっかりと学んでいきたいです。